



認知症フレンドシップクラブ アニュアルレポート 2018/2019



NPO 法人認知症フレンドシップクラブは、
認知症になっても変わらない暮らしができる社会の実現
を目指して活動している全国のネットワーク団体です。



認知症の人にやさしいまちを
目指す地域をつなぎ
社会を変える大きな力にする

--- DFC Annual Report 2018/2019 contents ---

P.2	prologue
P.4	2018 年度活動紹介 RUN 伴
P.5	be Orange（認知症まちづくり基金）
P.6	多世代まちづくりプロジェクト
P.7	TOPIC
P.8	DFC 事務局 活動報告
P.12	年間活動スケジュール
P.13	DFC パートナース
P.14	決算報告 謝辞

本アニュアルレポートは、
認知症フレンドシップクラブ（DFC）の2018
年度の活動をまとめたものです。

RUN 伴 山梨エリア	DFC ギャザリング	認知症 x ものづくり アイデアミーティング
be Orange 旅プロジェクト	RUN 伴 宮城エリア	多世代まちづくり プロジェクトコンペ
RUN 伴 Stories	認知症まちづくり ファシリテーター講座	RUN 伴 Tシャツ発送委託

表紙写真



<http://dfc.or.jp>

be Orange

認知症まちづくり基金



be Orange



新しいまちづくり活動を応援する民間基金「be Orange」は、認知症にやさしいまちを作る流れを加速し、全国に広げていくことを目指して2016年に設立しました。個人や企業、イベント（RUN伴やRUN伴+等）に寄せられた資金が活用され、これまで21プロジェクトに投資されています。各地で生まれた活動の芽は、全国のみならずの応援の気持ちで花を咲かせ、大きく成長する機会を得ました。

今後も、新たにチャレンジしたい個人やグループ、こうした動きを応援したい方々と一緒に、認知症にやさしいまちを実現する大きなうねりを作っていけたらと思います。

2018年度採択プロジェクト



C 部門 / みまもりあいプロジェクト
一般社団法人セーフティネットリンケージ _ 全国



A 部門 / 認知症にやさしい図書館プロジェクト
男性介護者の会 マスターズカフェ _ 大阪府



C 部門 / 旅からはじまる市町を超えた友情プロジェクト
認知症地域支援推進員合同チーム _ 地域横断：御坊市・みよこ町・由布市・恵那市



A 部門 / まほろばキッチンサークル
まほろば倶楽部（奈良県若年性認知症・MCIの人々の集い） _ 奈良



B 部門 / 地域で活躍！オレンジ人材センター
NPO 法人播磨オレンジパートナー _ 兵庫

- be Orange 部門（2018年度）
- A 部門：認知症の人自身による活動や発信
 - B 部門：認知症の人の雇用・働く場づくり
 - C 部門：認知症の人にやさしいまちづくりを推進するチームづくり
 - D 部門：認知症の人にやさしいまちづくりに関する調査研究
 - E 部門：その他、A～D部門に該当しない認知症の人にやさしいまちづくりに資するプロジェクト



<http://www.be-orange.jp>

RUN 伴

全国タスキリレー



RUN TOMO



タスキをきつかけに広がる新しい地域のつながり

RUN 伴は、認知症の人や家族、地域の人が少しずつリレーをしながらタスキをつなぐイベントです。認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、北海道から始まった小さなチャレンジでした。各地から自分の所でも開催したいと手が上がり年々ルートが拡張、6年かけて日本縦断を達成します。

第8回となる2018年は、全市町村のおよそ4分の1の自治体で開催され、姉妹イベントRUN伴+を含めると3万人以上が参加しました。現在では、公式Tシャツの発送業務を当事者と支援団体に委託する事業が本格化。認知症の人の働く機会を作るフアンドレイズイベントにもなっています。

RUN 伴は日本中すべてのまちで、小さな思いがつながり、新たな出会いがうまれることを目指してタスキリレーを続けています。



全国で開催が広がる
▶全自治体 1/4 で実施



認知症の人の社会参加
▶のべ5,600名以上

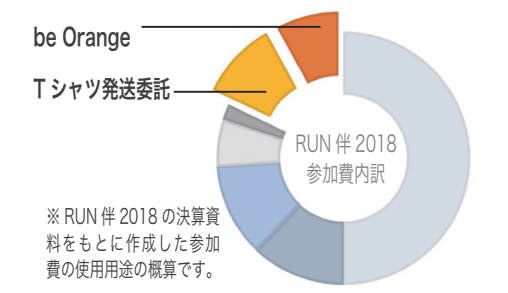


認知症の人の働く機会の創出
▶全国15か所



「地域と人の物語」を現地取材
▶"Stories" スタート

RUN 伴参加費の一部は、
社会を変えるプロジェクトに投資されます



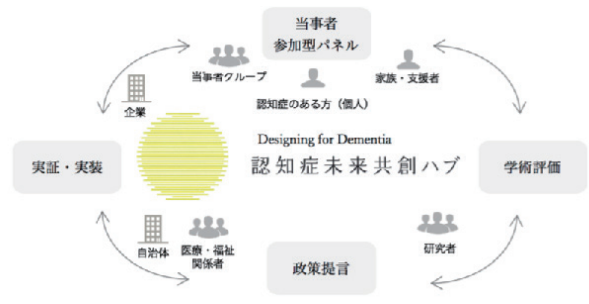
- RUN 伴 2018（第8回）
- ・参加人数19,132名（内認知症の方1,895名）
 - ・参加エリア42か所（道北、オホーツク、十勝、道央、胆振、道南、青森、岩手、宮城、秋田、山形、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、熊本、沖縄）
 - ・RUN 伴+ 24か所
 - ・海外（台湾全土）



<http://runtomo.org>

TOPIC

最近の
動き



認知症とともによりよく生きる未来



当事者の思い・体験と知恵を中心に、認知症当事者、家族や支援者、地域住民、医療介護福祉関係者、企業、自治体、関係省庁及び関係機関、研究者らが協働し、ともに未来を創る活動体「認知症未来共創ハブ」が誕生しました。

当事者参加型パネル、学術・研究評価、実証・実装、政策提言・発信をめざし、当クラブも運営団体として参加しています。



<https://designing-for-dementia.jp>



スタッフ

事業拡大や多様なニーズに伴い、本部スタッフも新しいメンバー体制になりました。各々の得意分野をいかしたチームで、DFCネットワークを更に深め広がっていきます。



はたらく

認知症の人の社会の役に立ちたい、地域とのつながりを増やしたいニーズと、できることを活かして働く場を増やそうという試みが増加中です。写真 / 竹林管理とタケノコ販売 (町田市)



各地で本人の声

認知症の人の講演会や当事者の声を起点にした取り組みが各地で増加。当事者中心のピアサポートや本人会議も全国で展開されています。写真 / 本人ミーティングに向けた研修会 (石狩市)



WORLD

海外のメンバーと情報を共有することが多くなっています。大阪で行われた国際シンポジウムでは、イギリス、ベルギー、アジア各国のまちづくりの取り組みを学びました。写真 / 認知症の人にやさしい街をめざして (大阪)

多世代まちづくりプロジェクト

学生 × 事務局コラボ

初企画



多世代まちづくりコンペティション (大阪 / 2018年12月)

「若者アイデア × 地域フィールド」
多世代コラボで未来のまちづくり

学生とともに考える認知症にやさしいまちづくりをテーマに、多世代まちづくり事業がスタートしました。研究テーマを持つ学生と、まちづくり活動中で地域のフィールドを持つメンバーのマッチングを目指すコラボ企画です。第一回は、応援したいプロジェクトを公開コンペスタイルで決定！学生のプレゼンを聞いた会場の参加者から、質問やアドバイスが多く寄せられ、互いに刺激を受ける機会となりました。

学生は研究を深める社会との接点に、地域で活動するメンバーは未来の協力者との出会いや柔軟な発想を得るチャンスになるよう、今後多世代まちづくりに挑戦します！

多世代まちづくりプロジェクト コンペティション



認知症になっても楽しめる農業プロジェクト (近畿大学 × 奈良事務局)

既に実践中の活動を深める
実践部門



認知症フレンドリーな社会を目指したパターン・ランゲージ活用プロジェクト (慶応義塾大学 × 魚沼・横浜・西香川事務局)



オレンジポストプロジェクト (近畿大学 × 奈良事務局)

スタートアップとして最初の一步をめざす活動
チャレンジ部門



認知症の理解を促す標語をつくる (森ノ宮医療大学 × 豊中事務局)



香り付き立体パズルは脳血流量を増やすことができるか (近畿大学 × 奈良事務局)



ハッピーケアプロジェクト (東京工科大学 × 町田事務局)



【決定プロジェクト】
・実践部門
→認知症になっても楽しめる農業プロジェクト
・チャレンジ部門
→オレンジポストプロジェクト





町田事務局



東京都 町田事務局

ワークショップ。カフェ、サポーター・ステップアップ・学童サポーター養成講座開催。まちだDサミット開催・介護家族実態アンケート。Dファーム、町田女子会、ゆるゆるネット、ケアラズカフェ、妻の会、ご近所ケア会議、D酒など多数実施。



札幌南事務局



北海道 札幌南事務局

味噌づくりプロジェクトを通じた会員交流。今後、開催するカフェで活用を検討。北海道胆振東部地震により活動休止状態、今後の活動検討中。



恵庭事務局



北海道 恵庭事務局

当事者主体のカフェ毎週水・木曜日開催。大豆選別作業を委託、農福連携シンポジウムで当事者と発表。カフェを通して大学生とつながり、RUN 伴でも大学生が活用。地域FMラジオに毎月出演し、RUN 伴当日は応援リクエストや中継が流れた。



ロゴマーク リニューアル

2018年4月、設立10年の記念にロゴマークをリニューアルしました。認知症フレンドリーな社会を目指すという全国共通の目標とともに、各地のまちが、それぞれのユニークな活動の展開イメージを色で表現しようと、特定カラー（上記10色）から各事務局が独自に設定する仕様です。デザインは英語のDの文字を表現。認知症（Dementia）の頭文字Dでもあります。夢（Dream）や多様性（Diversity）、対話（Dialogue）の頭文字でもあります。Dに込める思いも、まちそれぞれ。オリジナルカラーが多彩なように、各地で多様なまちづくりが展開されています。

まちづくりのハブとなるDFC事務局は、2019年7月現在で全国21か所あり、各地で独自の活動をしています。年に一度、全事務局が集まるギャザリング（写真右）は、全国ネットワークをいかした取り組みや、各地の課題と未来を一緒に考える機会です。このページでは、全事務局の2018年度の主な活動を、北から南の事務局の順番に掲載します。



横浜事務局



神奈川県 横浜事務局

オレンジフェス（セミナー、行方不明者捜索シュミレーション、プロレス等）、家族勉強会でイベント告知、Dシリーズ参加、DKシリーズ（藤沢）参加、「横浜美術館にモネを見に行こう」実施。



板橋事務局



東京都 板橋事務局

ポンテの定例会、本人クラブ、家族（介護者）クラブ、講演会＋ワークショップ、誰でも居酒屋（認知症居酒屋）、まちづくり会の企画や地域の祭りに実行委員として参加、地域の飲食や商店、商店街と連携。



品川事務局



東京都 品川事務局

「みんなの談義所（当事者交流会）」にてバーベキュー、お餅つきなど、定期開催。Dシリーズ品川から当事者が初参加し MVP 受賞。



帯広事務局



北海道 帯広事務局

サポーター養成講座ステップアップ研修、スキルアップ研修、当事者講演会「認知症になってわかった認知症のこと」（広島 / 新潟から）、RUN 伴 Stories 取材、寄付付自販機販売、とかちフードバレーマラソン参加。



函館事務局



北海道 函館事務局

当事者講演会「認知症の人を支えるチカラと認知症の人に支えられるココロの研修会」（大阪）実施。ほか複数サロン、認知症セミナーへの参加。



札幌石狩事務局



北海道 札幌石狩事務局

認知症カフェ、認知症家族のつどい、認知症ケア・施策に関する質的变化についてのアンケート、認知症サポーターキャラバンプロモーション作戦会議、「注文をまちがえるレストラン」開店、石狩市本人ミーティングの実現 ほか。



東香川事務局



香川県 東香川事務局

香川県認知症実践者研修、地域福祉講演会、認知症の人と家族の会 香川県支部の集まり、RUN 伴香川開催。



西香川事務局



香川県 西香川事務局

「誰もが安心して暮らし続けられるわがまちづくりフェア」開催、オレンジコンサート+当事者練習会開催、当事者の会「認知症があっても楽しく生きる集い」（みかん狩り、八十八か所巡りなど）毎月開催。ピアサポートを重視した認知症カフェ開催など。



西播磨事務局



兵庫県 西播磨事務局

おれんじ倶楽部、オレンジ人材センター（有償ボランティア）、本人の会「ピア」、認知症ゼミナール、認知症ケア実践研修、認知症フォーラム、認知症サポーター事例集「sonogo2018」発行、城下町オレンジキャンペーン、認知症サポーター交流会など。



富士宮事務局



静岡県 富士宮事務局

Dシリーズ全国大会主催、練習会毎月実施。カフェ、商店街マーケット「十六市」、宮おどり大会出演。認知症啓発フォーラム、認知症の方の仕事場づくりセミナー、若年性認知症居場所「のらのら」仕事の場、ミーティング、介護関係者の勉強会や交流会実施。



恵那事務局



岐阜県 恵那事務局

多職種連携ワークショップ（和が家 今井氏 10月）、認知症カフェ「ささゆりカフェ」運営メンバー、えなRUN 伴 PLUS 活動誌第2弾作成、あんしん声掛け訓練実施。



魚沼事務局



新潟県 魚沼事務局

当事者家族交流会「あちこたねえ会」毎週開催、おれんじドア in にいがた、認知症地域支援推進員活動報告及び情報交換会、十日町雪まつり協賛イベント「認知症と共に生きる人たちのストレスコントロールのためのトークライブ＆親睦ツアー」実施、帯広事務局研修参加。



沖縄事務局



沖縄事務局

RUN 伴 2018 沖縄、就労型活動グループ「フンドゥー Fun Do」野菜づくり。



山鹿事務局



熊本県 山鹿事務局

市内の福祉事業所や情報を発信するHP「やまが福祉ネット」作成。YouTube チャンネル「やまが Talking D-cafe」作成・配信。認知症カフェでの「旅のことばカード」活用。事務局設立記念講演会。



行橋事務局



福岡県 行橋事務局

認知症オレンジカフェの実施、認知症相談の実施、認知症サポーター養成、取材対応。「認知症とともに生きるメモリーウオーク」実施。



奈良事務局



奈良事務局

オレンジコンサート第4回開催、認知症当事者主催「まほろばキッチン」と学生コラボによる料理教室実施、Dシリーズ参加、多世代まちづくりプロジェクトコンペ参加。



あべの事務局



大阪府 あべの事務局

東住吉区キャラバンメイトへの参加。阿倍野区、東住吉区の介護事業者連絡会への参加。RUN 伴大阪市内ルートを担当、周知説明会の実施。



豊中事務局



大阪府 豊中事務局

病気や障がいに関わらずおしゃれを楽しむことを応援するサロン「美・Myself」でワークショップ実施。イベント「美・Myself2018」ではプロカメラマンの若年性認知症当事者が撮影を担当した。

認知症の人と家族のための
オンラインストア
dfshop



dfshop は、NPO の活動の中からでてきた「人々の暮らしの知恵とそれに関わるモノや商品」を、紹介・販売するサイトです。認知症の人と家族、支援者の皆さんの、情報とモノとつながりをサポートするインフラの一角をめざしています。dfshop は、NPO の関連法人である株式会社 DFC パートナースが運営しています。



認知症 × ものづくり アイデアミーティング
「認知症の人自身が快適な暮らしをおくるための商品」が社会にひろがるように、認知症の人と一緒に作る商品開発事業を 2018 年 10 月から開始しました。2018 年 12 月には、暮らしの困りごと解決のためのアイデアミーティング（写真左）を実施。商品開発プロジェクトは、dfshop ブログの瓦版（写真右）で掲載中です。

《 dfshop 販売アイテム 》
RUN 伴関連グッズ（公式 T シャツ、スポーツタオル、キャップ、ウインドブレーカー）、生活便利グッズ（ビニールポケットカレンダー）、チャリティーグッズ（T シャツ、トートバッグ）、認知症の人の働く場づくり（車いす体重計、富士山テーブル、流しそうめん台）、書籍（認知症当事者の本、絵本、新書、オリジナル冊子）など。

dfshop
<https://dfshop.thebase.in>

DFC パートナース 関連法人

認知症まちづくり
ファシリテーター講座



認知症まちづくりファシリテーター講座
認知症の人の声を起点にしたまちづくりを、医療福祉の枠組みを超え、交通・流通・金融など様々なセクターと課題意識を共有することに焦点を当てた講座です。認知症の課題を入り口に、まちを変えていくための問いの立て方、対話の場の設計を実践形式で学びます。



- ・ みんなでつくる認知症フレンドリーまちだ（2018 年 5 月）
- ・ be Orange REPORT（2018 年 6 月）
- ・ RUN 伴 2018 フォトマガジン（2019 年 3 月）

株式会社 DFC パートナース 事業内容
オンラインストア dfshop の運営、まちづくり事業（認知症まちづくりファシリテーター講座、まちづくりワークショップ、講演など）、書籍・冊子の企画制作、寄付付き商品の企画開発、自治体・企業のコンサルティング、調査研究

年間活動スケジュール 2018.4 ~ 2019.3

schedule

- 2018 年
- 4 月
- ・ DFC ロゴマークリニューアル
 - ・ 「春の po-to スタンプラリー」 出店（東京オフィス）
- 5 月
- ・ 『みんなでつくる認知症フレンドリーまちだ』 発行
 - ・ DFC ニュースレター発行
 - ・ 山鹿事務局開設（熊本）
- 6 月
- ・ 『be Orange REPORT』 発行
 - ・ 認知症まちづくりファシリテーター講座開催（東京）
- 7 月
- ・ RUN 伴 2018 スタート（北海道）
 - ・ be Orange2018 プロジェクト決定
- 8 月
- ・ DFC メールマガジン リニューアル発信
 - ・ RUN 伴 Stories サイト公開
- 9 月
- ・ 認知症フレンドリージャパンサミット 2018（神奈川）
 - ・ DFC ホームページリニューアル
- 10 月
- ・ 認知症未来共創ハブ設立
- 11 月
- ・ RUN 伴 2018 ゴール（沖縄）
 - ・ まちだ D サミット（町田市）
- 12 月
- ・ 事務局ギャザリング（大阪）
 - ・ 多世代まちづくりコンペ（大阪）
 - ・ 認知症 × ものづくり アイデアミーティング（東京）
- 2019 年
- 1 月
- ・ 『認知症フレンドリー社会』 刊行記念トークイベント（徳田理事）
- 2 月
- 3 月
- ・ D シリーズ（全日本認知症ソフトボール大会）共催（富士宮市）



春の po-to スタンプラリー（東京オフィス）



キックオフイベント（山鹿事務局）



まちだ D サミット（町田事務局）



認知症未来共創ハブ ワークショップ（東京）

社会福祉法人 高岡身体障害者福祉会 特別養護老人ホーム 志貴野長生寮、医療法人社団たかはら会、特定非営利活動法人 NPO てとてとて、東洋羽毛北関東販売（株）、トータル・メディカル津沢株式会社、栃木県済生会宇都宮病院、Tochigi 未来カフェ、株式会社 隣家、チーム那須、小規模多機能型居宅介護施設なでこ、nanairo 株式会社、日産プリンス埼玉販売株式会社、日本船舶薬品株式会社、株式会社ハートケアサービス、芳賀町議会、社会福祉法人 白日会 照古苑、有限会社ハヤトオーエイシステム、HITOWA ライフパートナー株式会社 訪問医療マッサージ KEiROW 本部、ファーマケア株式会社 ふたば薬局、富士見高原リゾート株式会社、フタバ飼料（株）、プリントショップ RAMBLE、株式会社ベネッセスタイルケア、医療法人北斗会高根沢シルバーホーム、有限会社ほくと夢ポケット、特別養護老人ホーム ほのぼの園、社会福祉法人財団松原愛育会 松原病院、三重信用金庫、合同会社みちスピリ、みとう整骨院、医療法人社団緑会佐藤病院、みやの森カフェ、株式会社明治、株式会社メディカルグリーン、萌木の村（株）ROCK、ものがたり診療所太田、ものがたり居宅介護支援センター、ものがたり訪問看護ステーション、ものがたりホームヘルパーステーション、焼肉ハウス REED、湯浅英貴、株式会社 悠愛、社会福祉法人 陽翠水、葭葉忠史 & フレンズ、四日市看護医療大学、株式会社 ライラック、有限会社ラインアップ、浄土宗竜宝山如来寺、両毛ヤクルト販売株式会社、社会福祉法人緑樹会 明山荘、合同会社リ・リーフ、社会福祉法人るりこう会、レキオファーマ株式会社、医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院、有限会社わたなべ、ワタビキミート株式会社（五十音順）

・後援
三重県、京都府、新潟県、滑川市、魚津市、高岡市、上市町、黒部市、朝日町、射水市、砺波市、南砺市、立山町、舟橋村、富山県、富山市、北日本放送株式会社、富山テレビ放送、読売新聞北陸支社、北日本新聞社、朝日新聞社、板橋区、さいたま市、豊橋市社会福祉協議会、埼玉県、豊橋市、石川県、川崎市、川崎市社会福祉協議会、熊本市、板橋区社会福祉協議会、地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター、川越市社会福祉協議会、嘉手納町、沖縄市、北谷町、浦添市（順不同）
※各地の実行委員会への後援も多数ございます。たくさんの応援、誠にありがとうございました

■ 協力
フューチャーセッションズ、NPO 法人 Ubdobe、一般社団法人認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ

■ 事業委託
帯広市、町田市

■ be Orange 審査員
粟田主一（東京都健康長寿医療センター研究所）
井出 訓（放送大学教授／NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事長）
大城勝史（沖縄トヨペット（株）／だいじょうぶネット沖縄・認知症当事者）
岡田 誠（富士通株式会社フィールドイノベーション本部 FI 特命プロジェクト員／一般社団法人認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ共同代表理事）
堀田聰子（慶應義塾大学大学教授／認知症未来共創ハブ 代表）
宮崎直人（有限会社グッドライフ／一般社団法人北海道認知症グループホーム協会会長）

■ アドバイザリーボード
阿保順子（元北海道医療大学特任教授）
岡田 誠（富士通株式会社フィールドイノベーション本部 FI 特命プロジェクト員／一般社団法人認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ共同代表理事）
佐藤雅彦（日本認知症本人ワーキンググループ副代表理事／認知症当事者）
田辺毅彦（北星学園大学 文学部 心理・応用コミュニケーション学科教授）
西村敏子（北海道認知症の人を支える家族の会事務局長）
八森 淳（つながるクリニック院長）
前田隆行（町田市つながりの開理事長）
松本一生（松本診療所ものわすれクリニック理事長・院長）
宮崎直人（有限会社グッドライフ代表／一般社団法人北海道認知症グループホーム協会会長）

（敬称略 五十音順）

決算報告 御礼			
2018 年度			
2019 年度 事業計画書	2018 年度 会計報告		
	収入		支出
	寄付	56,867,293	事業費 55,166,136
	事業収入	1,718,036	管理費 3,912,118
	助成金収入	1,450,000	予備費 0
	雑収入	114,027	合計 59,078,254
	合計	60,149,356	※当期収支差額は 1,071,102 円

2018 年度、活動に参加してくださった皆様、
ご支援下さった全ての皆様に御礼申し上げます。

■ 助成・寄付
イオン株式会社（イエローレシートキャンペーン）、サントリービバレッジサービス株式会社（寄付付き自販機）、shigeo & Megumi Takayama Foundation、S O M P O ちきゅう倶楽部、有限会社ティー・オー・ヴィ、東京海上日動あんしん生命保険株式会社、公益財団法人日本フィランソロピー協会、北海道社会福祉協議会渡島地区事務所

■ RUN 伴 2018 パートナー企業
・特別協賛
株式会社浅井ゲルマニウム研究所、オリックス・リビング株式会社、KDDI 株式会社、社会福祉法人 生活クラブ、S O M P O ケア株式会社、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険、株式会社ダスキン、日本イーライリリー株式会社
・A 協賛
アサヒグループホールディングス（株）、株式会社 大木家、学校法人 大妻学院、株式会社くらし計画、有限会社祥寿会、株式会社ツクイ、東京海上日動あんしん生命保険株式会社、なかはら歯科医院、NISSHA 株式会社、一般社団法人 日本作業療法士協会、株式会社パワーファーマシー、株式会社富士通研究所、一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会、株式会社舞浜倶楽部、三豊市立西香川病院、メディカル・ケア・サービス株式会社

・B 協賛
医療法人社団愛康会、愛の家グループホーム南砺福光、社会福祉法人 あいの風福祉会、アイムケア春らんまん、医療法人社団あかね会、株式会社アキデザイン、アサヒワンビールクラブ、藍澤證券 芦屋支店、有限会社アライ、アロハガス株式会社マーキュロップ栃木営業所、社会福祉法人 安寧、（株）ウエルファイン 風乃里水戸田、医療法人 社団宇光会 村井クリニック、裏山（白倉農園）、医療法人社団映寿会介護老人保健施設 みらいのさと太陽、HQOL 合同会社、株式会社エダ住宅、越後中央農業協同組合、株式会社エフアンドエフ、OSS 会（矢板市 4 施設合同勉強会）、大島板金、医療法人 太田医院、沖縄県精神科病院協会、一般社団法人 沖縄県認知症グループホーム協会、医療法人社団 小田会、株式会社介護センター花岡 甲府店、カイロプラクティック AYUM I、医療法人社団 金森会、株式会社木次商事、餃子菜館勝っちゃん、金精軒製菓株式会社、雲井商店、株式会社クリニコ、くるまカフェ カーフェ、桑名歯科医院、社会福祉法人 謙心会、医療法人社団 弘徳会、晃南印刷株式会社、ごしょカフェ、コストコ千葉ニュータウン倉庫店、株式会社コスモスの里、特定医療法人 財団五省会、一般社団法人小山薬剤師会、一般社団法人 小山地区医師会、サイクルスポーツマネージメント（株）、医療生協さいたま生活協同組合、有限会社さわか金沢、医療法人賛永会さつきホームクリニック、医療法人燦生会介護老人保健施設フルリールむかわ、社会福祉法人 至誠会、司法書士法人清水総合事務所、公益社団法人栃木県柔道整復会、特別養護老人ホーム寿山荘、特別養護老人ホーム寿山荘那須、社会福祉法人 章佑会、社会福祉法人信和会 穴山の杜、（株）スリーティ運輸 ヘルスケア事業部、社会福祉法人 清幸会 特別養護老人ホーム ゆたか苑、社会福祉法人 清幸会 特別養護老人ホーム あじさい苑、社会福祉法人 清幸会 特別養護老人ホーム なすの苑、世代間交流喫茶いってみっけ、医療法人社団双愛会 足尾双愛病院、株式会社ダイエードリームライツ、株式会社 Daichi メディカルスポーツセンター、高岡駅南クリニック、（次頁へ続く）

